
◎行政報告

○議長（山本浩平君） 日程第4、行政報告を行います。

町長から行政報告の申し出がありましたので、これを許可いたします。

戸田町長。

〔町長 戸田安彦君登壇〕

○町長（戸田安彦君） 平成27年白老町議会第1回定例会9月会議の再開にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、一般社団法人日本自動車連盟との観光連携協定の締結についてであります。

観光振興と地域経済の発展を目的に8月20日、道内では25番目、胆振管内では登別市、苫小牧市に次いで3番目となる連携協定を同法人と締結いたしました。

このことから、9月中旬に発行される機関誌「JAFmate10月号」において、白老町、登別市、苫小牧市の観光情報が12ページにわたり掲載される予定であります。

今後においても同法人の機関誌やホームページ等を通じ、本町の観光情報が全国に向けて広く発信されるものと期待しております。

次に、（仮称）羊蹄山麓・西胆振地域広域連携会議の発足についてであります。

8月26日に、北海道開拓や交通網など歴史的に深いつながりのある羊蹄山麓周辺地域の倶知安町、ニセコ町、蘭越町、京極町、喜茂別町、真狩村、留寿都村の7町村と西胆振地域6市町に札幌市南区及び白老町を加えた15市区町村が行政界を越え、新たな圏域での連携の可能性を考えるとともに、さまざまな分野において連携可能な取り組みを推進するため、菅原喜茂別町長を会長とする組織が発足したところであります。

この組織における広域的な取り組みの推進にあたっては、各自治体の執行方針や近隣市町村とのつながりなど、従来のまちづくりの基本は守りつつ、この圏域に新たな価値を生み出し、国や道、関係団体の支援を仰ぎながら、観光、食、自然、人などさまざまな地域資源を活かし広域的な連携を図ることを基本方針としており、本町としても新たな成果を期待するものであります。

次に白老町防災訓練についてであります。

9月1日の防災の日に合わせて、青森県東方沖を震源とするマグニチュード8を超える巨大地震が発生し、大津波警報が発表されたという想定で町内会、学校、事業所などから、約2,000人の参加をいただき住民等の避難、警報等の情報伝達、通信訓練、職員参集訓練を実施いたしました。

今回の訓練では地震発生時刻を午前9時から10時の間とし、いつ大津波警報が発表されてもまずは身の安全確保と素早く高台などへ避難するという意識を訓練といたしました。今後も災害に対する町民の意識高揚や関係機関との連携を密に防災・減災対策に取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、海外へ向けた白老牛ブランドや観光資源などのPRについてであります。

今月 12 日からタイ・バンコク市で開催される「うまいっしょ、北海道！2015」において、昨年に引き続き白老牛を輸出し、白老牛の実演販売とアイヌ文化の情報発信など、食と観光の連携によるプロモーション事業の展開を実施するほか、この事業と関連しバンコク市内にある飲食店と連携を図り、白老牛フェアを開催する予定となっております。

また、現在イタリア・ミラノで開催中の「2015 年ミラノ国際博覧会」において、北海道では 10 月 6 日から 8 日までの 3 日間を「北海道の日」と定め、北海道産黒毛和牛のすばらしさを世界に発信するため、本町の白老牛をヨーロッパ圏に初めて輸出することとなり、この博覧会の来場者の方々に試食提供されることが決定いたしました。

今後も引き続き、白老牛ブランドの認知度向上と本町の観光資源を海外に向けて情報発信し、外国人観光客の誘客活動の強化に努めてまいります。

なお、本 9 月会議には議案 14 件、認定 3 件、報告 5 件を提案申し上げておりますので、よろしくご審議賜りたいと存じます。

○議長（山本浩平君） これで行政報告は終了いたしました。